



少子化問題、献血だって困ったぞ。

困ったその① 10代、20代の献血者が10年前に比べて40%も減少しています。

困ったその② 10代、20代の献血者の50%が献血に「無関心」で「悪い」「怖い」のイメージが先行しています。

困ったその③ 若い人の献血がこのまま減り続けると2027年には約100万人分の献血用血液が不足する推測です。

30代から60代の方は、
今までと変わらぬご協力を!!
10代から20代の方は、
より一層のご協力をお願いします!!

《受付のペーパーレス化に伴い、受付方法に変更があります》

- ・タブレット端末による**タッチパネル**での受付になります。
- ・**生体認証(指静脈)**による本人確認が始まります。

献血のおしらせ

この度、下記日程で献血を行ないますので
みなさまの献血へのご協力をお願いいたします。

9月20日(土)

10:00 ~ 12:15 13:30 ~ 16:00

葵スクエア

に献血バスが伺います!

【主催】静岡青色申告会

輸血に使用される赤血球製剤の**9割以上**が
400mL献血によりまかなわれています。

【400mL献血採血基準】
男性17才以上・女性18才以上 体重50kg以上



☆服薬されている方は**薬剤名**をお聞きしますので
ご協力ください。

☆献血をしていただく前日は**睡眠**を充分にとり、
当日の**朝食(昼食)**をしっかり摂ってください。



献血の前にお読みください。

お願い!



より安全な輸血用血液を確保するため、
以下に該当する方は献血をご遠慮ください。

- ① 3日以内に出血を伴う歯科治療（抜歯、歯石除去等）を受けた方
 - ② 4週間以内に海外から帰国（入国）した方
 - ③ 1カ月以内にピアスの穴をあけた方
 - ④ エイズ検査が目的の方
 - ⑤ 6カ月以内に下記に該当する方
 - (a) 不特定の異性または新たな異性と性的接触があった
 - (b) 男性どうしの性的接触があった
 - (c) 麻薬、覚せい剤を使用した
 - (d) 上記(a)～(c)に該当する人と性的接触をもった
 - ⑥ 今までに下記に該当する方
 - (a) 輸血（自己血を除く）や臓器の移植を受けた
 - (b) ヒト由来プラセンタ注射薬を使用した
 - (c) 梅毒、C型肝炎、マラリア、シャーガス病にかかった
- <以下に該当する方は職員・検診医にお申し出ください>
- ① 3日以内に薬を服用、使用した方
 - ★ 薬剤名が必要です。お薬手帳や薬剤名の分かるパッケージ等をお持ちください。
 - ② 1年以内に予防接種を受けた方
 - ③ 海外滞在歴について
 - (a) 3年以内に外国（ヨーロッパ、米国、カナダを除く）に滞在した方
 - (b) 昭和55年以降、ヨーロッパ、サウジアラビアに通算1カ月以上滞在した方
 - (c) 今までに中南米諸国に通算4週間以上滞在した方
- ※上記に該当されない方でも、検診医の判断で献血をお断りすることがあります



ご協力いただくみなさま(献血者)の健康を守る基準もございますので、
事前に血液センターにお問合せください。

*各地区の血液センター連絡先は本紙表面にございます。

■献血方法別の採血基準

	成分献血		全血献血	
	血漿成分献血	血小板成分献血	200mL献血	400mL献血
1回献血量	600mL以下 <small>(循環血液量の1.2%以内)</small>	400mL以下	200mL	400mL
年齢	18歳～69歳*1	男性18歳～69歳*1 女性18歳～54歳	16歳～69歳*1	男性17歳～69歳*1 女性18歳～69歳*1
体重	男性45kg以上・女性40kg以上			男女とも50kg以上
年間献血回数	血小板成分献血1回を2回分に換算して血漿成分献血と合計で24回以内		男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内

■献血の間隔

今回の献血 ↓ 次回の献血	血漿成分献血	血小板成分献血*2	200mL献血	400mL献血
血漿成分献血	男女とも2週間後の 同じ曜日から献血できます		男女とも 4週間後の 同じ曜日から 献血できます	男女とも 8週間後の 同じ曜日から 献血できます
血小板成分献血				男性は12週間後 女性は16週間後 の同じ曜日から 献血できます
200mL献血				
400mL献血				

*1 65歳以上の献血については、献血される方の健康を考え、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。

*2 血漿を含まない場合には、1週間後に血小板成分献血が可能になります。ただし、4週間に4回実施した場合には次回までに4週間以上あけてください。

献血のとき使用される採血針や採血バックは一人ひとり新しいものを使用していますので、ウイルス等が感染する心配はありません。

「本人確認」へのご協力をお願いします



献血受付の際に、ご自身を証明できるもの(運転免許証・健康保険証等)をご提示いただいております。
ご理解とご協力をお願いします。

